

Toyama Prefectural University

公立大学法人富山県立大学

分類 機械設備、機械要素部品、金型(及び製品)、自動車関連、ロボット関連、航空機関連、化学、官公庁・各種団体・学校
 出展品

企業概要

住所	〒939-0398 富山県射水市黒河5180		
連絡先	Tel 0766-56-7500		Fax 0766-56-6182
	https://www.pu-toyama.ac.jp/		
担当部・課	事務局教務課情報研究係	資本金	
年商		従業員数	
海外対応			
主要取扱製品			
企業の 特長・強み	本学では、大学の知的資源を積極的に還元することを目的とし、産業界とも産学連携や地域交流に取り組んでいます。		
代理店名			

○微細リンクル加工技術が牽引する機能性マテリアル群

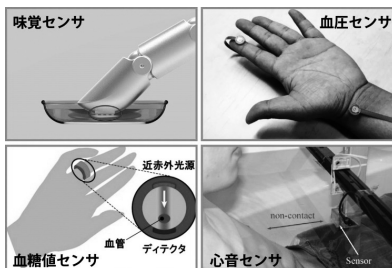
微細凹凸構造の作製技術は半導体素子などの電子工業をはじめ、太陽電池、防汚表面などあらゆる産業分野において重要な要素技術である。本技術は、材料弾性率の違いに基づいた加工法であり、ワンタッチで多彩なパターン(リンクル:しわ)構造を作製できる。構造・空間特性を利用して種々の高感度表面増強ラマン散乱(SERS)センサーや、液滴を自在に制御できる大面積超撥水性基板、新規ボトムアップ型立体造形へと展開し、本技術の多機能性を実証した。

○ウルトラファインバブルによる各種除去加工性能の改善

切削、研削、研磨、放電加工に携わる企業では「加工液」が課題になっている。能率、工具寿命、製品の精度や品位の他、加工液の腐敗に伴う異臭など問題は尽きない。地球環境に配慮しつつ、高能率で且つ、高品位な除去加工を実現できる環境に優しい高機能な加工液として、ウルトラファインバブルクーラントに関する技術を紹介する。

○人の五感や健康状態を計測するセンサ技術

ロボット技術の発達により、私たちの生活は日に日に便利になっている。現代のロボット技術を支える重要な要素の一つがセンシングデバイスである。私たちは、力や化学量やバイタルデータを高速・高感度に測定できるセンサ技術を研究している。例えば、ロボットの指に実装可能な味覚センサ、細胞1個の力を計測できる力センサ、浴槽内で使える心音センサ、筋活動を定量化する筋音センサなどが実現しつつある。



あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ